

平成30年度 帯広市職員採用試験案内 (追加日程)

【申し込み受付期間】 平成30年12月18日(火)～平成31年1月10日(木)

- ◆ 帯広市の採用試験は、『人物重視』のため、公務員試験用の対策をしていない方を含め、多くの方が受験しやすい試験となっています。
- ◆ 平成30年度帯広市職員採用試験(前期日程)または(後期日程)のいずれかを受験した方は、受験できませんので、ご注意ください。

【試験日】 平成31年2月3日(日)

1. 試験区分、採用予定数及び受験資格(平成31年4月1日採用予定)

| 試験区分 | 採用 予定数 | 受験資格 | |
|------|-----------------------------|---|--|
| 総合職 | 3名程度 | ①土木 平成元年4月2日 以降に生まれた人 | 次の1または2のいずれかを満たす人 1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上で、土木系学科を卒業した人または平成31年3月までに卒業見込の人(これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む) 2. 上記1の要件のうち、「土木系学科」以外の要件を満たしており、かつ、土木施工管理技師資格を有する人(平成31年3月までに資格取得が見込まれる人も含む) ※ただし、前期日程または後期日程を受験した人は除く |
| | | ②土木 (社会人) 昭和34年4月2日から 平成元年4月1日まで に生まれた人 | 次の1及び2のいずれも満たす人 1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人(これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む) 2. 平成31年1月10日時点で、土木に関連した計画、設計・測量または施工管理等の職務経験年数が直近8年中に通算して5年以上ある人 ※ただし、前期日程を受験した人は除く ※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週30時間以上の勤務を1年以上継続した期間が該当 なお、青年海外協力隊等に1年以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能 ※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます ※Q&A(8ページ)もあわせてご確認ください |
| | ③建築 平成元年4月2日 以降に生まれた人 | 次の1または2のいずれかを満たす人 1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上で、建築系学科を卒業した人または平成31年3月までに卒業見込の人(これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む) 2. 上記1の要件のうち、「建築系学科」以外の要件を満たしており、かつ、建築士資格を有する人(平成31年3月までに資格取得が見込まれる人も含む) ※ただし、前期日程または後期日程を受験した人は除く | |

| 試験区分 | | 採用 予定数 | 受験資格 | |
|------|--------------|--------------------------|-------------------------------------|--|
| 総合職 | ④建築 (社会人) | 2名程度 ③建築 と合わせて | 昭和34年4月2日から 平成元年4月1日まで に生まれた人 | <p>次の1及び2のいずれも満たす人</p> <p>1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む）</p> <p>2. 平成31年1月10日時点で、建築に関連した計画、設計または施工管理等の職務経験年数が直近8年中に通算して5年以上ある人</p> <p>※ただし、前期日程を受験した人は除く</p> <p>※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週30時間以上の勤務を1年以上継続した期間が該当</p> <p>なお、青年海外協力隊等に1年以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能</p> <p>※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます</p> <p>※Q & A（8ページ）もあわせてご確認ください</p> |
| | ⑤電気 | | 平成元年4月2日 以降に生まれた人 | <p>次の1または2のいずれかを満たす人</p> <p>1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上で、電気系学科を卒業した人または平成31年3月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む）</p> <p>2. 上記1の要件のうち、「電気系学科」以外の要件を満たしており、かつ、電気主任技術者資格を有する人（平成31年3月までに資格取得が見込まれる人も含む）</p> <p>※ただし、後期日程を受験した人は除く</p> |
| | ⑥電気 (社会人) | 若干名 | 昭和34年4月2日から 平成元年4月1日まで に生まれた人 | <p>次の1及び2のいずれも満たす人</p> <p>1. 学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む）</p> <p>2. 平成31年1月10日時点で、電気に関連した計画、設計または施工管理等の職務経験年数が直近8年中に通算して5年以上ある人</p> <p>※ただし、後期日程を受験した人は除く</p> <p>※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週30時間以上の勤務を1年以上継続した期間が該当</p> <p>なお、青年海外協力隊等に1年以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能</p> <p>※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます</p> <p>※Q & A（8ページ）もあわせてご確認ください</p> |

※ 試験区分等に疑問がある場合は、申込前に必ずお問い合わせください。また、「**3. 職種別の主な職務内容**」(3ページ)や、「**試験や採用に関するQ & A**」(7・8ページ)もあわせてご確認ください。

※ 青年海外協力隊等とは、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアを指します。

※ 総合職は採用後、一定期間事業系（ごみ収集・給食調理等）業務に従事する場合があります。

2. 受験できない人

地方公務員法第 16 条に規定する以下の欠格条項に該当する人は受験できません。

- ・ 成年被後見人又は被保佐人
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- ・ 帯広市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない人
- ・ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、法第 60 条から第 63 条までに規定する罪を犯し刑に処せられた人
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

なお、日本国籍を有しない人は、採用後において公権力を行使する業務または公の意思形成への参画に携わる職に従事することはできません。

3. 職種別の主な職務内容

| 職種 | | 主な職務内容 |
|-----|----|--|
| 総合職 | 土木 | 主に、総合的な都市整備や、道路、河川、上下水道、橋梁、公園、農業基盤などの企画計画、設計・施工において、土木関係の専門的技術の業務に従事します。 |
| | 建築 | 主に、公共建築物の調査・設計・監理・検査・審査・維持管理において、建築・建築設備関係の専門的技術の業務に従事します。 |
| | 電気 | 主に、公共建築物の調査・設計・監理・検査・審査・維持管理において、電気関係の専門的技術の業務に従事します。 |

4. 試験日時、内容、会場及び合格発表

| 試験日時 | 試験内容 | 試験会場 (詳細4・5ページ) | 合格発表 | |
|--|---|----------------------|--------------------------|---|
| | | | 発表日 | 発表方法 |
| <p>平成 31 年 2 月 3 日 (日)</p> <p>午前 9 時～午後 6 時 (予定)</p> <p><u>※試験終了予定時間は、前後することがありますので、あらかじめご了承ください。</u></p> <p>※試験に必要なものは、下記のとおり</p> | <p>1. 総合適性試験</p> <p>2. グループワーク</p> <p>3. 個別面接試験</p> | <p>帯広市役所 本庁舎</p> | <p>2 月 15 日 (予定)</p> | <p>帯広市ホームページに合格者の受験番号を発表します。 また、受験者全員に文書で通知します。</p> |
| <p>〔試験に必要なもの〕</p> <p>① 受験票</p> <p>後日、申込時に提出いただいた返信用封筒に受験票（受験番号、試験会場、試験日時等を印字したもの）を同封のうえご郵送します。発送は募集期間終了後、1 月 24 日（木）を予定しています。</p> <p><u>1 月 30 日（水）までに受験票が届かない場合は、お問い合わせください。</u></p> <p>② 筆記用具（HB 以上の鉛筆等、消しゴム）</p> | | | | |

5. 受験申込手続き及び受付期間

| | | | |
|----------|---|-------|--|
| 申込方法 | お申し込みには「採用試験申込書」と「長3封筒（受験票返信用）」の提出が必要です。長3封筒には、油性ボールペンで受験票の送付先住所、氏名を記入してください（消せるペンは使用不可）。詳しくは、「採用試験申込方法」（6ページ）を参考に、下記受付期間中にお申し込みください。 | | |
| 受付期間・申込先 | 平成30年12月18日（火） | 郵送の場合 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1月10日（木）までに到着したものに限り受付します。 ○ 郵送先は6ページ下部をご覧ください。 |
| | 平成31年1月10日（木） | 持参の場合 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 帯広市役所5階 職員課にお持ちください。 ○ 受付時間は、午前8時45分～午後5時30分です。 ※土日祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は受付できませんのでご注意ください。 |

6. 合格から採用まで

最終合格者は採用候補者名簿に登録され、その順位に従い、原則として平成31年4月1日以降に採用となります。

7. 給与の概要（平成30年4月1日現在） ※初任給は採用前の職歴等に応じて加算される場合があります。

| 学歴区分 | | 初任給 | その他の手当 |
|------|-----|----------|---|
| 総合職 | 大学卒 | 179,200円 | 期末・勤勉手当（6月・12月）、寒冷地手当、扶養手当、住居手当、通勤手当などを、それぞれの要件に応じて支給します。 |
| | 短大卒 | 159,800円 | |
| | 高校卒 | 147,100円 | |

8. 注意点

試験に関する書類は、お返しできません。

郵送でのお申し込みの場合、1月10日（木）までに到着したものが受付対象となりますので、ご注意ください。

9. 試験会場

試験会場は、帯広市役所本庁舎（帯広市西5条南7丁目1番地～地図①）です。詳しくは、後日郵送する受験票にてご確認ください。なお、市役所本庁舎の入口は、本庁舎の南側となります。

○市役所駐車場（地図②）について

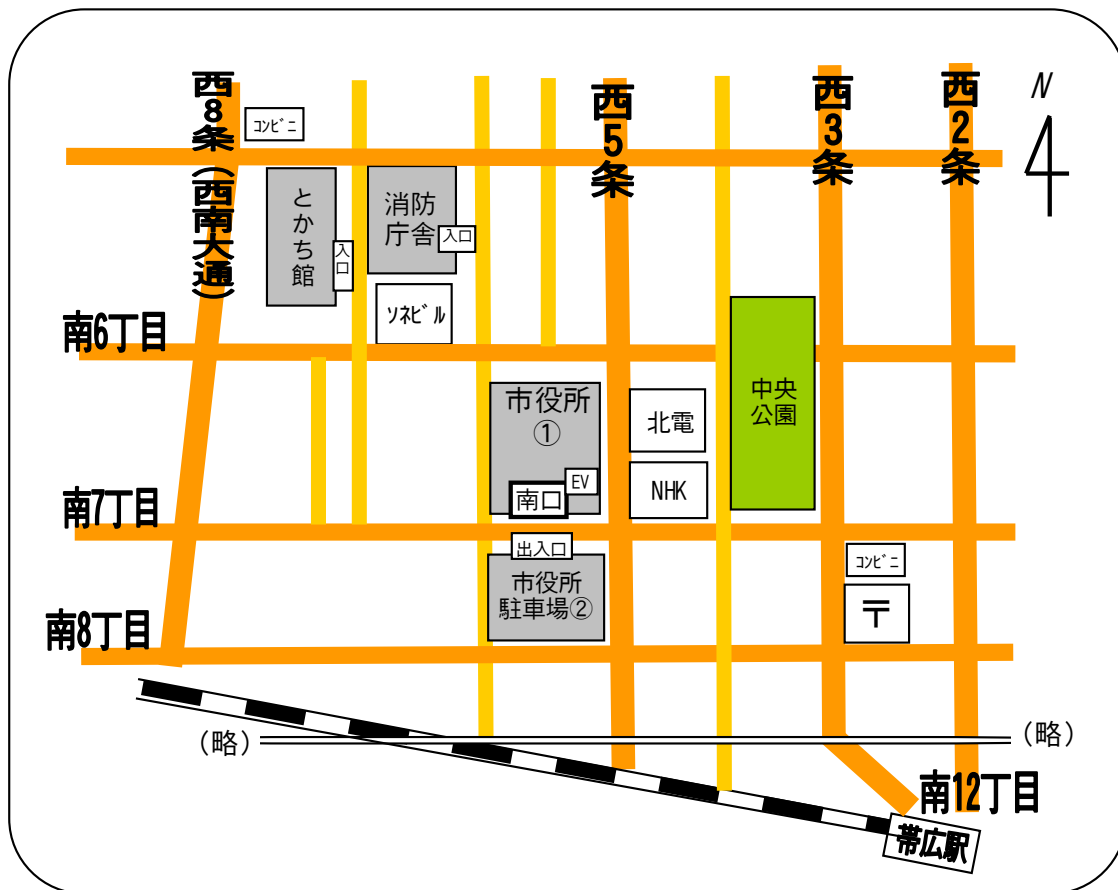
試験時は、市役所駐車場をご利用いただけます。ただし、台数に制限がありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

○会場に着いたら

係の指示に従ってください。

試験開始時刻に遅れた場合は受験を認めませんので、時間に余裕をもってご来場ください。

試験時間中は、携帯電話等の電源を切ってください。



10. 問い合わせ先

帯広市総務部職員課人材育成係 電話：0155-65-4108

〒080-8670 北海道帯広市西5条南7丁目1番地

E-mail：staff@city.obihiro.hokkaido.jp

採用試験申込方法

(1) **採用試験申込書**に必要事項を記入し、**必ず写真を貼ってください**。(記入にあたり、申込書裏面の「記入上の注意事項」もご確認ください。)

なお、採用試験申込書は必ず油性ボールペン(消せるペン使用不可)で自筆により記入(パソコン等で作成したものは受理できません)し、原本を提出してください。

(2) **長3封筒(A4三つ折サイズが入る大きさ)1通**を用意し、下記のとおり油性ボールペン(消せるペン使用不可)で、**受験票を受け取ることができる住所、氏名を記入し、「82円切手」を貼り付けてください**。

(3) 必要事項を記入した**採用試験申込書と長3封筒**を封筒に同封のうえ、受付期間に間に合うように、**郵送、もしくは職員課に持参**してください。(持参する場合、封筒は必要ありません。)

採用試験申込書(表面)の記入例

- 試験案内をホームページよりダウンロードし、印刷する場合は、**両面印刷**してください(用紙は**A4サイズ**としてください)。
- 両面印刷ができない場合は、別紙様式1と別紙様式2の裏側をのりで貼り合わせてください。

平成30年度帯広市(追加日程)採用試験申込書(表面)

☆裏面の記入上の注意事項をよく読んで自筆で記入してください。(平成31年1月10日現在)
 ☆該当する□にし印を記入してください。
 ☆選択項目に○印を記入してください。

| | |
|--|-----------------------------|
| 希望する試験区分 | |
| ※右の中から、希望する区分を1つ選択し、○で囲んでください。 ①土木 ②土木(社会人) ③建築 | ④建築(社会人) ⑤電気 ⑥電気(社会人) |

(写真)
(縦4cm・横3cm)
☆写真は3ヶ月以内に撮影したもの(カラーのみ)
脱着・上半身・裏面
のりで貼ってください

| | | | |
|----------------------------|--|----|---|
| ふりがな | おびひろ はなこ | | 記入しないでください |
| 氏名 | 帯広 花子 | | |
| 生年月日 | 昭和(平成)元年 10月 1日 | 性別 | |
| 現住所 | 〒000-0000 帯広市西〇条南△丁目〇番地 TEL()-()- 携帯()-()- | | 「上記以外の連絡先」も必ず記入してください。 現住所と住所が同じ場合は、「住所欄は“同上”」とご記入のうえ、「氏名」・「あなたとの関係」欄に世帯主様名等を記入してください。 |
| 上記以外の連絡先(帰省地など。必ず記入してください) | (氏名: 帯広 太郎) (あなたとの関係: 父) 〒000-0000 帯広市西△条北〇丁目〇番地 TEL(0000) 00-0000 | | |

| 学歴 | 期 間 | 学校名 | 学部・学科・専攻課程 | 制度 | 年制 | 卒業 | 修学区分等 |
|----------------------|----------------------|-------------|------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----|-------|
| | 自 昭31年4月 至 昭32年3月 | 帯広 高校 | 普通科 | 3 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 自 昭32年4月 至 昭33年3月 | 帯広大学 | 〇〇学部△学科□□専攻 | 4 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | |

| 職歴 | 期 間 | 勤務先名(部課まで) | 勤務地(市町村名) | 職務内容等 | 雇用形態 |
|------------------------|-----------------------|------------|-----------|--------|------|
| | 自 昭31年4月 至 昭32年10月 | (株)帯広工業 | 帯広市 | 土木施工管理 | 正社員 |
| 自 昭32年11月 至 昭33年10月 | 帯広市〇〇部△課 | 帯広市 | 事務補助 | 臨時職員 | |

| | | |
|-------|----------|--------------|
| 資格・免許 | 取得(見込)年月 | 資格・免許等 |
| | 昭30年9月 | 普通自動車第一種運転免許 |
| | 昭-年-年 月 | |
| | 昭-年-年 月 | |
| | 昭-年-年 月 | |

☆日付の欄は、和暦で記入してください。

-別紙様式1- (裏面もあります)

長3封筒の記入例

82円切手

00000000

受験票受取先の郵便番号を記入してください。

「82円切手」を忘れずに貼ってください。

北海道帯広市西〇条
南△丁目〇番地

帯広 花子 様

敬称を「宛」等に修正する必要はありません。

受験票受取先の住所、氏名を記入してください。
こちらの住所が正しく記載されていないと受験票が届きませんのでご注意ください。

申込書等の送付先

〒080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

帯広市総務部職員課人材育成係

採用担当 宛

試験や採用に関するQ & A

Q 1 試験案内をダウンロードしたが、印刷できる機能がない（印刷がうまくいかない）場合は？

A 1 総合案内（市庁舎1階）か職員課（市庁舎5階）まで試験案内を取りに来ていただくか、自分の住所・氏名を宛名に記入し、140円切手を貼った返信用封筒（角2封筒）を同封のうえ、「採用試験案内請求」と朱書きし、職員課へ郵送にて請求してください。届き次第、返信用封筒に試験案内を入れてご返送します。締め切り日を考慮し、時間にゆとりをもってご請求ください。

Q 2 現在、東京に住んでいるが、受験票等の送付先を帯広市内の実家に指定したい場合は？

A 2 現住所以外を送付先に指定する場合は、申込書の「上記以外の連絡先」欄に住所、氏名等をご記入の上、当該欄右下の「」にチェックをしてください。また、長3封筒（受験票返信用）の宛名には確実に届くように「〇〇（世帯主名）様方」をご記入ください。

Q 3 職歴がたくさんあり、採用試験申込書に書ききれない場合は？

A 3 別の用紙（様式は問いません）に全ての職歴（フルタイム勤務でないアルバイトを除く）を記入してください。また、帯広市の職員（臨時職員・嘱託職員）として勤務経験がある場合は雇用の形態にかかわらず、全てご記入ください。なお、在職中の場合は、期間の「至」欄は記入しないでください。

Q 4 試験問題の科目や過去の問題などは教えてもらえるか？

A 4 試験案内に記載している以上のことについては、お答えできませんのでご了承ください。

Q 5 職種が総合職となっているが、配属先や仕事の内容は？

A 5 総合職は、帯広市のさまざまな業務を担当します。事務系の業務のほか、事業系（清掃・給食等）の業務に従事する職場へ配属される場合もあります。

Q 6 複数の試験区分を同時に受験できるか？

A 6 受験できる区分は1つのみです。

Q 7 平成30年度前期日程（または後期日程）に合格しなかった場合、今回の試験（追加日程）を受験できるか？

A 7 平成30年度前期日程または後期日程の受験者は受験できません。

Q 8 採用試験申込書は試験終了後に返却してもらえるか？

A 8 採用試験に関する書類は、一切お返しできませんのでご了承ください。

試験や採用に関するQ & A（社会人区分）

Q 1 職務経験年数から除かれる期間はあるか？

A 1 休業等（病気休職や育児休業等）により実際に業務に従事しない期間が1か月以上ある場合は、就業規則等で認められたものであってもその全期間を除きます（在職期間から休業等の期間を差し引く。）。休業等により除かれる期間がある場合は、その旨採用試験申込書の職歴欄にご記入ください。なお、休業等を除いた期間（職務経験年数）が通算して5年以上（直近8年中）あれば問題ありません。

また、週30時間以上の勤務を継続した期間が1年に満たない場合は、職務経験年数に通算できませんので、ご注意ください。

Q 2 契約社員や派遣社員の場合でも「社会人」区分を受験可能か？

A 2 契約社員・派遣社員の方でも週30時間以上の勤務で、かつ直近8年中に通算して5年以上勤務している場合は、受験できます。なお、1年以上継続して勤務した期間のみ通算可能です。

Q 3 同じ企業で雇用形態が変わった場合（契約社員から正社員など）の職務経験の取り扱い？

A 3 週30時間以上の勤務であり、同じ企業にて勤務していれば、継続した期間とみなします。

Q 4 出向により別の会社に勤務した場合の職務経験の取り扱い？

A 4 職歴証明書により会社に在籍したままの出向であったことが証明できる場合は、その会社における継続した期間とみなします。

Q 5 会社名が変更になった（合併含む）場合の職務経験の取り扱い？

A 5 会社名が変更されても、その会社が元は同一であること、その会社に継続して勤務していたことが職歴証明書で確認できる場合は、その会社における継続した期間とみなします。

Q 6 受験資格に該当する会社が倒産している場合でも受験可能か？

A 6 受験資格を満たしていれば受験は可能です。ただし、会社の倒産により最終合格後に職歴証明書を提出できない場合は、雇用時の契約書類や雇用保険受給資格証明書等、他に証明できる書類を提出していただきますので、事前に職員課人材育成係（0155-65-4108）へお問い合わせください。

Q 7 職歴証明書を提出できない場合は？

A 7 最終合格後、受験資格である職務経験を確認するため、職歴証明書を提出していただきます。提出できない場合は、合格取り消しとなりますのでご注意ください。

Q 8 自営業の場合、職歴証明書のほかに何か提出する必要があるか？

A 8 自営業を営まれていた方は、最終合格後、職歴証明書のほかに営業日・営業時間などを証明できる資料を提出していただきますので、事前に職員課人材育成係（0155-65-4108）へお問い合わせください。

Q 9 平成31年4月1日現在29歳で、大学を卒業してから一企業に継続して働いている。土木職の場合、どの区分で受験可能か？

A 9 現在社会人として働いていても、年齢によって該当する試験区分が異なります。29歳までは「②土木（社会人）」区分ではなく、「①土木」区分での受験ができます。受験資格の生年月日をご確認ください。